

## コロンビアの最新動向(5月1日~5月15日)

### I. 政治・経済

#### 1. ドル建て債務のペソ切り替えを計画

- 5月6日、スルアガ蔵相は、200億ドルのドル建て債務をペソ建てに切り替える計画を発表した。オペレーションは、国際機関からの債務20億ドルから開始される見込み。
- 同蔵相によれば、本計画はここ最近9年来の高値で推移しているペソを活用するのが狙い。

#### 2. 世銀、ボゴタ地下鉄建設プロジェクトに融資

- 5月9日、世銀はボゴタ市の地下鉄建設プロジェクトに、資金及び技術面で協力することを明らかにした。融資額は40億ドルとなる見通し。
- 財務省は当初、資金調達が困難としてボゴタ地下鉄建設について反対していた。しかし、本年3月にウリベ大統領はプロジェクトを支持する方向を明らかにしている。
- IDBも本プロジェクトに対し12.5億ドルの融資を行う見通し。

### II. 外交

#### 1. ICPO、コロンビアの証拠は本物と判断

- 5月15日、国際刑事警察機構(ICPO)は、コロンビアがベネズエラのチャベス大統領とFARCとの関連性を示す証拠としてあげているコンピューターファイルは、不正に捏造されたものではなく、正式な証拠として認められるとの調査結果を発表した。
- コロンビアは、FARCに対し資金及び武器などを提供していたとしてチャベス大統領を告発している。エクアドルのコレア大統領もそれを容認した疑いが持たれているが、両大統領はFARCとの関連を否定しており、コロンビア側の証拠は捏造だと主張している。
- 今回の調査はコロンビア側の要請に応じて行われたもの。ICPOは、ファイルが本物かどうかの確認のみで、内容の検証までは行っていない。
- ICPOの調査結果の発表を受けて、チャベス大統領は、今後コロンビアとの外交関係を見直す必要があると述べた。同大統領はコロンビア企業に対するドル割当てレート(現在2.15ポリバル)を変更するとしている。

### III. 石油その他の資源セクター

#### 1. ベネズエラ向け天然ガス供給は計画の3倍

- コロンビア当局によると、2007年に操業を開始したベネズエラ-コロンビア間のガスパイプラインを通じてコロンビアがベネズエラに供給した天然ガスは150mcf/dと当初計画の3倍に上った。
- コロンビアからベネズエラへの天然ガス供給にかかる契約では、2008年中は50mcf/d、2009年～2010年に150mcf/d、2011年に100mcf/dとなっており、その後はベネズエラからコロンビアへの供給が始まる計画となっている。
- 天然ガスの生産はEcopetrolとChevronが行っている。

#### 2. Ecopetrol、2008年第1四半期は174%の増益

- 5月12日、Ecopetrolは2008年第1四半期決算を発表、前年同期比174%の増益となる2兆2,900億ペソ(13億ドル)の純利益を計上した。
- 総生産量は43.2万boe/dで、前年比で12%増加した。国内向けは66%で輸出向けが34%であった。
- Ecopetrolは2008年第4四半期にニューヨーク証券取引所にADR上場を計画している。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。